

文化芸術が身近にあり、 豊かで潤いのある生活を実現するまちを目指して



八王子市は、高尾山をはじめとする豊かな自然に恵まれ、また、都内唯一の日本遺産認定都市という長い歴史と伝統文化にあふれるまちです。地域での文化芸術活動も活発に行われており、市民の皆様が紡いできた多彩な文化は、世代を超えて大切に受け継がれてきたものです。

令和3年(2021年)5月に当時の文化庁長官は「文化芸術活動は、断じて不要でもなければ不急でもありません。(中略)社会全体の健康や幸福を維持し、私たちが生きていく上で、必要不可欠なものであると確信しています。」と発信されました。当時は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による未曾有の状況でした。文化芸術が人々の心に寄り添い、励ます力を持ち、社会全体の健康や幸福を支えるものであることを実感するメッセージでした。

八王子市では、平成28年(2016年)に「八王子市文化芸術ビジョン」を策定して以来、文化芸術がより身近なものとなるよう、様々な取組を進めてきました。令和7年度(2025年度)で、同ビジョンの計画期間が終了することを受け、これまでの取組の成果を振り返るとともに、少子高齢化やデジタル技術の発展などの社会情勢をはじめとした文化芸術を取り巻く環境の変化を踏まえ、このたび「第2期八王子市文化芸術ビジョン」を策定しました。

不確実性が増すとともに流動性を高める社会経済環境の中で、八王子市は、文化芸術の力を活かした地域の課題解決や新たな価値創造につなげる取組が求められています。「第2期八王子市文化芸術ビジョン」では、文化芸術そのものの振興に加え、アートやデザインを切り口としたまちの賑わいづくりや、市民や文化芸術活動団体、企業、大学等との連携の可能性についても示しています。文化芸術により、本市の魅力をさらに高め、地域や日々の暮らしに豊かさと潤いを感じてもらえるよう施策を進めてまいります。

結びに、本ビジョンの策定に御尽力いただきました「八王子市文化芸術振興評議会」の皆様をはじめ、アンケート調査やパブリックコメントなどを通じて御意見をお寄せいただいた皆様にご心より感謝申し上げます。

令和8年3月

八王子市長

初宿 和夫

Contents

目次



第1章 ビジョンの策定にあたって 3

- 1 策定の趣旨 4
- 2 ビジョンの位置づけ 5
- 3 ビジョンの期間 6
- 4 ビジョンの対象となる文化芸術の範囲 6

第2章 これまでの取組の成果 7

- 1 指標の達成状況 8
- 2 「八王子市文化芸術ビジョン」方向性ごとの取組実績 9

第3章 文化芸術を取り巻く環境 21

- 1 国・都の動向 22
- 2 市の動向 24
- 3 社会情勢の変化 27
- 4 八王子市の現状 29

第4章 文化芸術がもっと身近になるための5つのこと 31

- 1 第2期八王子市文化芸術ビジョンの全体像 32
- 2 5つの方向性について 33
 - 方向性1 文化芸術活動を「ささえる」 34
 - 方向性2 未来に向けて「そだてる」 38
 - 方向性3 良さ・楽しさを「つたえる」 42
 - 方向性4 観たい・聴きたいに「こたえる」 46
 - 方向性5 文化芸術がもたらす価値を「ひろげる」 50

第5章 ビジョンの推進にあたって 55

- 1 ビジョンの推進体制 56
- 2 ビジョンの進捗状況の検証 56

資料編 57